



令和7年度プラスチック対策検討会事業について

令和8年2月28日

プラスチック対策検討会

1. 概要

プラスチック対策検討会では、令和2年4月の設置以降、プラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）について、関西広域での取組を進め、地域創生につなげることを目的として、以下の取組を行いました。

2. 主な取組内容

- (1) プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進
- (2) プラスチック対策プラットフォームの開催
- (3) 大阪・関西万博における情報発信について

(1) プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進

①プラスチック代替品の普及に係る取組の促進について

令和7年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチック代替品の普及可能性調査の成果（プラスチック代替品の普及に向けた取組事例や課題への対応策などを盛り込んだ情報集）を活用し、プラスチック以外の素材・生分解性素材・バイオマス活用素材を使用した製品の普及に係る事業者や自治体の取組を促進するため、情報集を更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラスチック代替情報オンライン研修会 令和7年12月4日(木)

参加者数：33名

内容：

- ・「プラスチック代替素材製品の普及に向けた情報集について」
(株式会社ダン計画研究所)
- ・「サーキュラーエコノミー視点で見るプラスチック資源循環最新動向」
(サークルデザイン株式会社)



②プラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進について

令和7年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査の成果（プラスチックごみ散乱状況推計モデル及び利活用マニュアル）を活用し、陸域の散乱ごみの削減に係る自治体等の取組を促進するため、マニュアルを更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラスチックごみ散乱状況推計モデル活用にかかる研修会 令和8年2月4日(水)

参加者数：46名

内容：

- ・「農業生産におけるプラスチック対策の動向」
(農林水産省 農業環境対策課・技術普及課)
- ・「プラスチックごみ散乱状況推計モデルの活用について」
(株式会社ダン計画研究所)



(2) プラスチック対策プラットフォームの開催

関西広域でのプラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）の取組を進め、地域創生につなげることを目的として、令和7年度は「プラスチック対策プラットフォーム」を2回開催し、意見交換や情報の共有を行いました。

プラットフォームメンバー

関西広域連合構成府県市、（一社）全国清涼飲料連合会、（一社）日本フランチャイズチェーン協会、PET ボトルリサイクル推進協議会、日本チェーンストア協会関西支部

第1回プラットフォーム 令和7年12月4日(木)

参加者数：33名

テーマ：ポスト万博の今 改めてプラスチックと向き合ってみませんか

- ・「大阪・関西万博の会場運営におけるプラスチック対策について」
（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 持続可能性局）
- ・「リボンチャレンジ【バイオプラスチックでREBORN】の出展を通じてみる
関西企業のポテンシャル」
（一般社団法人西日本プラスチック製品工業協会）

第2回プラットフォーム 令和8年2月4日(水)

参加者数：46名

テーマ：農業におけるプラスチック対策について

- ・「農業生産における生分解性マルチに関する基礎知識」
（全国農業協同組合連合会 耕種資材部 園芸資材課）
- ・「プラスチック被覆肥料殻の流出実態及び農業現場を取り巻く現状」
（大阪府立環境農林水産総合研究所 食と農の研究部）

(3) 大阪・関西万博における情報発信について

大阪・関西万博内、関西パビリオンにて開催された「いのち育む“水”のつながり WEEK」にブース出展し、関西広域連合のプラスチック対策に向けた取組の発信を実施

◆いのち育む“水”のつながり WEEK 令和7年7月30日～8月3日

プラスチック対策検討会出展日 令和7年7月31日

開催場所 大阪・関西万博内、関西パビリオン内多目的エリア

来場者数 延べ19,209名（7月30日～8月3日）

展示内容 取組内容のパネル展示、プラスチック対策に係る動画放映

